

Yûsui

第137号 令和7年5月1日発行



NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI

NO.137
2025.5.1

西原村議会だより【ゆうすい】

村民球技大会!!

ペタンク競技に
燃える子ども達!!



★ CONTENTS ★

《3月定例会》

- ◆令和7年度当初予算／質疑応答…P2～P4
- ◆令和6年度補正予算／質疑応答…P5～P6
- ◆令和7年度 第1回定例会賛否表 ……P7
- ◆一般質問 ……P8～P11
- ◆組合報告・研修報告 ……P12～P14
- ◆よっていきなっせ ……P15
- ◆職場からこんにちは ……P16

住民の声が反映された 令和7年度新年度予算!!

新たなバスの実証実験 総合運動公園⇄益城町⇄熊本空港
福祉タクシーの拡充(妊婦さんも緊急利用可能へ要綱改正)
公共ライドシェアの実現を目指し、運転手確保に向け二種免許取得に助成金
空港滑走路北側の新たなアクセス道路整備を求める要望書を県へ提出
(企業誘致とともにベッドタウン対策)
村の主産業を守るサツマイモ基腐病緊急対策補助金



3月6日(土)14日の9日間開催された。
承認1件・令和6年度一般会計・各特別会計の補正予算、及び令和7年度の当初予算案を
含めた議案が36件・同意1件を審議し全て可決した。4名が一般質問し、村政を質した。

令和7年度

西原村一般会計当初予算

一般会計 55億6,819万円

令和7年度各特別会計・公営企業会計

総額85億6,414万円

《特別会計》

項 目	特別会計予算額
国民健康保険	9億927万円
介護保険	7億2,643万円
後期高齢者医療	2億1,516万円
工業団地造成事業	8億8,913万円
住宅用地造成事業	135万円

《公営企業会計》

項 目	事業会計予算額				
中央簡易水道事業	(収益の収支)	(収入)	9,897万円	(支出)	1億11万円
	(資本の収支)		2,536万円		4,428万円
工業用水道事業	(収益の収支)		2,514万円		2,442万円
	(資本の収支)		7,000万円		8,580万円

質疑応答

《議案第17号》

令和7年度 一般会計予算

【問】大切畑ダム復旧工事土砂一時仮置用地費2,129万円とあるが、現在の進捗状況は。

【建設課長】ダムの完成と揚水開始は令和8年4月予定。

【問】ダムの堤体が完成後、周辺整備を行うとの事だが、もとは伐採後、木の搬出ができる道があったが、県からの話では完成後は車が通る道はないとの回答であった。地元の方が要望を出しているが回答はない。これからどうなるのか。



大切畑ダムの堤体

【建設課長】ダム周辺の管理道路は、県が行う。車が通れる状態か詳細は分からない。旧管理

棟の撤去と新しい管理棟の建設も県が行う。ダムの跡地利用は検討委員会で協議を重ねた結果、建築物は建てず、芝生の広場という方向で進んでいる。

【問】サツマイモ基腐病緊急対策補助金750万円。12月議会では薬剤購入費1,200万円が予算計上されていたが、受付の実績により算定しているのか。現在の甘藷農家の申請数及び散布面積の把握はできているのか。



基腐病断面

【産業課長】1回目の薬剤の散布の支出予定額は、884万円。2回目、3回目は村の財政状況を勘案し、薬剤購入費の補助率を2分の1に引き下げ計上。700万円が薬剤散布の補助（作付前と作付後の薬剤の使用量は希釈倍数の関係から使用本数が若干減る）、残りの50万は基腐病が発生した圃場に対して資材等の補助。総額750万円を上

程。現在の申請者数97名。散布面積165ha。

【問】3回消毒を行って完全な対策となると聞いている。補助が減ると薬剤散布をしない農家が出るのではないか。全額補助の考えは。

【村長】村の特産品であり、収益も多いことを考え、前回の補正予算の繰越分と当初予算と合わせて100万〜150万円程度不足が生じるので、6月にもう一度補正予算を組み全額補助を行う。

【問】運動公園の運用から1年たったが、民間業者への委託の意向はあるのか。

【教育課長】当初から指定管理という形で進んでいる。現在、管理委託については、仕様書の作成に取りかかっている。整備が整い次第、次年度以降に、入札やプロポーザルなど、適した形で業者を選定をする予定。

【問】人事評価制度運用支援業務委託料413万2千円はどのような内容か。

【総務課長】現在の人事評価制度は給与面への反映は行われてなかった。次年度から給与へ反映させる為の研修計画等の業務委託である。

【問】地域経済循環創造事業補助金7,500万円の内容は。

【企画商工課長】地域経済循環創造事業、通称ローカル10,000プロジェクトという事業。



事業内容は
こちら
(村HP)

現在2件の申請相談がある。本村の課題の解決につながる新規の創業が予定。予算の財源としては、補助金の3分の2に当たる5,000万円は、国庫からの交付金、残りの2,500万円の半額1,250万円は、特別交付税の措置があるので、村の負担は1,250万円の事業。

【問】空港方面コミュニティバス実証運行業務負担金750万円の説明を。

【企画商工課長】本年度中に益城町⇄熊本空港⇄西原村運動公園を結ぶ新たな公共交通通サービスの実証運行を益城町と共同で予定。



質疑応答

【問】インターネット販売促進業務手数料4,600万円の内容は。

【企画商工課長】ECサイト等のインターネットを介して、村内の農産物や特産品などの販売について支援を行う。支援する金額は販売実績額の1〜2割程度を見込んでいる。

【問】堀切高遊線視距改良工事2200万円の進捗状況は。

【建設課長】みどりの館の前の交差点部分の隅切りをして見通しをよくするという設計。今年度、用地買収まで終わったので、当初予算で工事費を計上した。



斜線部分が隅切り部分

※隅切り…角地である土地の角を切り取って道路状にすること

【問】堀切高遊線の堀切から降りた、橋の近く、現在側溝が埋まっている状態で梅雨時期は危険だと思うが進捗状況は。

【建設課長】今年度3月までには、原状回復する(側溝を戻す)予定。水が集まる箇所なので、何らかの応急対策は梅雨までには取りたい。



堀切高遊線の橋近く困っている部分

【問】水質検査手数料が上がっているが、PFAS等も含まれるのか。

【水道課長】有機フッ素化合物検査は令和6年度、国から各水道事業者に水質検査の依頼があった。村営及び各水道組合の検査の結果、PFAS等も基準値未満であった。

令和7年度も予算計上している(国から依頼があれば行う)。

※PFAS…人工的に作られたフッ素が多い化合物の総称

【問】文化財展示施設整備造成工事1,100万円。どの場所に造成がされるのか。

【教育課長】場所は、西原村運動公園の南側。現在は設計段階、村の文化財展示施設の建設基金を利用して建てる。

【問】滝小野線道路改良工事、1億3,000万円事業内容は。

【答】場所は滝集落から滝つぼのほうに下る道。今回は第1期工事、約200m区間を部分的に離合箇所を設ける改良工事、併せて見通しも良くする計画。



滝小野線道路改良箇所の一部

【問】予防接種広域化委託料1,768万円に予防接種の带状疱疹の助成費も含まれているのか。

【保健衛生課長】带状疱疹の定期接種も含まれる。

《対象者》

◆2025年度に65歳になる方
◆60〜64歳の方でヒト免疫不全症候群(HIV)による免疫機能障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

◆2025年度〜2029年度までの経過措置としてその年度内に70、75、80、85、90、95、100歳となる方も対象

◆100歳以上の方については、2025年度に限り全員対象費用に対して自己負担3割で考えている。

《議案第21号》

令和7年度 西原村工業団地造成事業特別会計予算

【問】不動産売却収入の8億7,630万円の積算基礎、根拠は。

【企画商工課長】今回の売却収入については、工業団地造成事業の2団地から6団地分、計5団地の売買の収入を計上。トータル面積は、5万8,042平方メートル。販売代金の単価は、平方メートル当たり1万5,000円を想定している。

令和6年度
西原村一般会計補正予算

歳入歳出予算6,897万6千円を減額

予算総額65億4,866万円

《主な補正》

- ◆基金繰入金の減額……………3億1,729万6千円
- ◆定額減税補足給付金等の減額……………2,528万8千円
- ◆地籍調査検証測量業務委託料等の増額……………3,766万5千円
- ◆新型コロナワクチン定期接種委託料等の減額 ……1,100万2千円

各特別会計・事業会計補正予算

項 目	増 減	総 額	主な内訳
国民健康保険	5,876万7千円減	9億4,529万千円	保険給付費等交付金減 一般被保険者国民健康保険税減
介護保険	465万2千円減	9億7,592万千円	介護サービス等諸費減 予備費増
後期高齢者医療	281万円減	2億1,247万4千円	後期高齢者医療広域連合納付金減 予備費減
工業団地造成事	—	7億4,345万円	補償補填及び賠償金減 予備費増
住宅用地造成事業	千円減	137万6千円	一般会計繰入金減

公営企業会計補正予算

項 目		増 減	総 額	主な内訳
中央簡易水道事業 (収益的収支)	(収入)	1,373万7千円増	1億241万千円	水道使用料及び加入金増
	(支出)	561万6千円増	8,453万9千円	地方消費税納付見込み額増
工業用水道事業 (資本的収支)	(収入)	7,000万円減	4,000万円	企業債収入減
	(支出)	8,580万円減	5,022万2千円	布設工事費減

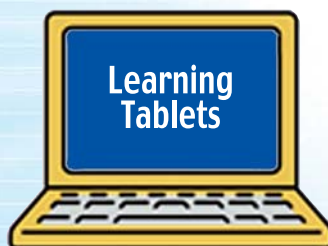
質疑応答

《議案第9号》

令和6年度 一般会計補正予算

【問】教育総務費の修繕費234万円の内容は。

【教育課長】学習用端末タブレットの修繕代である。1台約5万2,000円で、45台計上している。



【問】5年契約の庁舎警備委託料が当初契約より、384万2千円上がったその要因は。

【総務課長】令和10年度までの一括契約していたが、人件費の高騰によるものである。



【問】農地等災害復旧事業の県補助金が減額されているが完了したのか。

【建設課長】令和6年度の農地

等災害を発注しており、3月末をもって全て完了する予定。

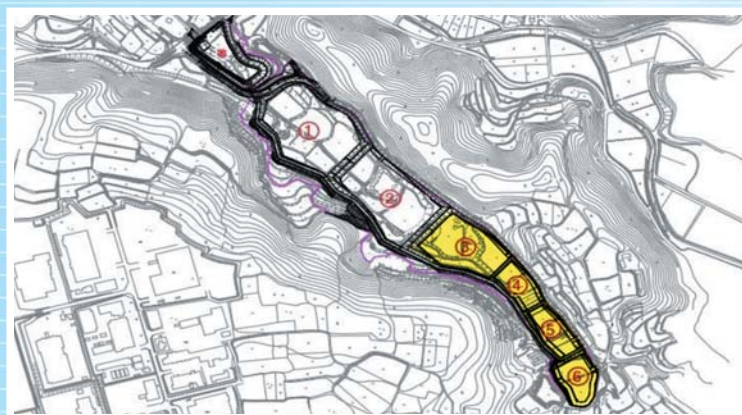
《議案第13号》

令和6年度 西原村工業団地

造成事業特別会計
補正予算(第2号)

【問】新工業団地への誘致企業の発表はまだか。

【村長】現在のところ6区画中4区画の企業に内定通知を出している。相手企業の都合に合わせての発表になる。



議会当時は4区画内定だったが、現在6区画全て内定。

【問】新工業団地の進捗状況及び今後の予定は。

【企画商工課長】調整池の2期工事、造成地4つの団地の造成工事、県道山西大津線バイパス工事完了後、残り1団地の造成工事を進めていきたい。令和8年12月の完成を目指す。



新工業団地調整池(工事中)

【問】新工業団地用の調整池にコンクリートを張るのはなぜか。

【企画商工課長】工場からの排水は、極力地下浸透させないでくれとの指導から雨水も含めて排水させる。

《議案第14号》

令和6年度 西原村住宅用地

造成事業特別会計
補正予算(第2号)

【問】今後の宅地造成事業の予定は。

【村長】継続していきたい。大規模なもので河原地区の活性化のために考えている。



村が行った前回の宅地造成

【問】使われていない村有地は今後売却してはどうか。

【村長】今後処分出来るところは処分し、活用出来るところは民間活用型を目指したい。

令和7年度 第1回定例会 賛否表

議案審議の賛否一覧表

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 ※西口議長は、議事進行を行うため賛否表明を致しません。

	項 目	西口 義充	桂 悦郎	山 下 一 義	中 西 義 信	坂 本 隆 文	堀 田 直 孝	尾 崎 幸 穂	松 浦 哲 也	加 藤 博 敏	山 下 圭 介	議 決 結 果
承認第1号	専決処分の承認について	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第1号	課設置条例及び情報公開・個人情報保護審議会条例の一部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	西原村一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	西原村職員の旅費に関する条例の全部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	運動公園の設置及び管理に関する条例の一部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	土地改良事業の補助に関する条例の一部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	熊本広域行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び熊本域行政不服審査会共同設置規約の変更	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	令和6年度西原村一般会計補正予算(第7号)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	令和6年度西原村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	令和6年度西原村介護保険特別会計補正予算(第3号)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	令和6年度西原村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	令和6年度西原村工業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)	—	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第14号	令和6年度西原村住宅用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第15号	令和6年度西原村中央簡易水道事業会計補正予算(第3号)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	令和6年度西原村工業用水道事業会計補正予算(第3号)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	令和7年度西原村一般会計予算	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	令和7年度西原村国民健康保険特別会計予算	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	令和7年度西原村介護保険特別会計予算	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	令和7年度西原村後期高齢者医療特別会計予算	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	令和7年度西原村工業団地造成事業特別会計予算	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	令和7年度西原村住宅用地造成事業特別会計予算	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	令和7年度西原村中央簡易水道事業会計予算	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号	令和7年度西原村工業用水道事業会計予算	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	指定管理者の指定(※住民福祉課)	—	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第26号	工事請負契約の締結(鳥子地区新工業団地排水路整備工事)	—	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第27号	工事請負契約の締結(鳥子地区新工業団地4・5・6工区造成工事)	—	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第28号	工事請負変更契約の締結(鳥子地区新工業団地2工区造成工事)	—	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第29号	工事請負変更契約の締結(鳥子地区新工業団地3工区造成工事)	—	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第30号	工事請負変更契約の締結(西原村役場庁舎改修工事:1期)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	工事請負変更契約の締結(西原村構造改善センター大規模改修工事)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	工事請負契約の締結(鳥子地区新工業団地調整池整備工事:その2)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	和解及び損害賠償額の決定について(追認)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	和解及び損害賠償額の決定について(追認)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	和解及び損害賠償額の決定について(追認)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	和解及び損害賠償額の決定について(追認)	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意第1号	西原村監査委員の選任につき同意を求めることについて	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
※議員提出議案												
発議第1号	西原村議会の個人情報保護に関する条例の一部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第2号	西原村議会の個人情報保護に関する条例の一部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第3号	西原村議会委員会条例の一部改正	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第4号	西原村議会会議規則第129条に伴う議員派遣	—	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

Questions

松浦 哲也 議員

一般質問

発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。

【村長】人口を1万人にすることは常に頭の中にある。空地バンクや、河原校区の山間地域での耕作放棄地等は、民間による宅地整備などを行い移住定住推進に注力したい。

若者世代や子育て世代の支援は、特に力を入れる分野であると考えている。子育て支援係は令和7年度中に住民福祉課に設置したい。

西原村将来ビジョンについて

【松浦】村長自身が考える西原村の将来像は、また人口1万人を目指すのか。

住みたい田舎、ベストランキングで、移住者増の人气地全国8位に選ばれたが、この機会を活かして若者世代、子育て世代の支援に特に力を入れたらどうか。

その為にも4月の人事異動で子育て支援係を設置したらどうか。

西原村将来ビジョンについて（20年後、30年後の西原村の未来）

村 長／空地バンクや耕作放棄地等は、宅地整備などを行い移住定住の場へ。子育て支援係は令和7年度中に住民福祉課に設置したい。

有害鳥獣の対象鳥獣にカラスの追加及びその捕獲について

産業課長／西原村猟友会と連携、協議を行いながら前向きに進めていきたい。



西原村の風景

【松浦】人口1万人～3万人規模の市町村住みたい田舎ランキ

有害鳥獣にカラスの追加とその捕獲について

【村長】豊後高田市は素晴らしいと思う。出来るだけ村民の意に沿って出来る範囲のことを取り組んでいきたい。

【松浦】村内でカラスによる農作物被害が数多く確認されている、有害鳥獣の中にカラスを追加し捕獲できないか。

【産業課長】令和6年4月～令和7年2月16日の有害鳥獣捕獲状況は、イノシシ506頭、シカ492頭、アナグマ106頭、タヌキ32頭となっており、前年度の2倍近い捕獲数。

近隣8町村では、カラスを有害鳥獣として捕獲許可を出している町村は5町村。農作物への被害を防止・減少させるため、西原村猟友会と連携、協議を行いながら西原村鳥獣防止計画に掲載し捕獲開始出来るよう進めて行きたい。

【松浦】サツマイモ農家の話によると、苗を植えるのと引き抜いて横に並べるとのこと。銃での捕獲が厳しいならば、箱かなで対処してほしい。

【産業課長】猟友会の理解と協力が必要である。鳥獣被害防止計画の変更も同時に進めて正式な捕獲許可が開始できるとなれば令和8年度になる予定。



一般質問

坂本 隆文 議員

General

一般質問の記事は、質問した議員が要約したもので原文を尊重し一部編集しています。

地域公共交通

会議の内容は

【坂本】西原村交通対策会議の内容と進捗状況は。

【企画商工課長】住民アンケートとヒアリングを行い、バス不足、高齢者移動の困難、タクシー運転手不足が判明。これを受け検討委員会でも話し合わせ、タクシー運行改善、コミュニティバス導入、空港連絡網など新移動手段を検討。まずは高校生へ通学支援助成



を行い、総合体育館から空港へのバス運行計画、運転手確保のための助成金等、高齢者支援等に取り組む。

【坂本】本村の人口増加はどういった方々が増えているのか、住宅も増えているのか。

【村長】本村の人口は、H28年7,041名、熊本地震後のH30年には6,726人まで減少令和7年3月1日現在で7,048人と、熊本地震当時の人口を超え、熊本県が毎月発表する推計人口において、R6年5月から令和7年1月までの人口増加率は西原村が県内自治体で1位となった。しかしながら、西原村では少子高齢化が進行し、年少人口は減少傾向。一方、生産年齢人口は微増、老年人口は顕著な増加を示している。今後は集合住宅増加や工場立地で人口増が見込まれるが、年齢構成の変化、特に保育園や小中学校の動向を注視する必要がある。

人口増加と校舎老朽化に伴う

学校問題への対策方法は

《山西小学校築49年経過》
《西原中学校築44年経過》

【坂本】保育園の教室数および保育士の確保、山西小学校の老朽化、浸水想定区域になっ

る河原小学校、子ども達の増加、これらの学校問題への対策方法は。

【住民福祉課長】村内2つある保育園の室内面積で言えば現在より約80人程多く受け入れできるが、保育士確保が難しく待機児童が発生、今後の課題になっている。(待機児童数令和6年13人、令和7年度8名)。

【教育課長】中学校は生徒数が100人増加し各学年が3クラスになつても施設は対応可能と考えている。特別支援学級は既存の部屋を改修し、教室を確保する必要があると考える。

【村長】改修費用もお金がかかる、また、河原小学校は浸水想定区域でもある事から、これからどうするか運営検討委員会を立ち上げ考えていきたい。



古くなった山西小学校/校舎

地域公共交通会議の内容は

企画商工課長／通学支援助成、総合体育館から空港へバス運行計画、運転手確保のための助成金等、高齢者支援等に取り組む。

人口増加と校舎老朽化に伴う学校問題への対策方法は

村長／改修費用もお金がかかるが、運営検討委員会を立ち上げ考えていきたい。



Questions

山下 圭介 議員

一般質問

高森町が行っている『高森町次世代定住促進奨学資金貸付制度』この制度と同等の取組を西原村でもできないか。

村 長／本村では子育て支援を実施しているが、今後も様々な施策を講じていきたい。

学習意欲がある誰もが、使いやすい西原村ならでは、新しい『基金』を創設し運用してはどうか。

村 長／未来の西原村を担う子ども達のため、基金創設を前向きに検討する。

本村の奨学基金

制度について

【山下】本村にも西原村奨学基金（貸与型、利子なし）高等学校月額2万円以内、大学及び専門学校月額3万円以内の制度があるが、現在の申請状況はどうか。

【教育課長】過去30年ほど遡ると、平成5年からこれまでの間に専門学校や大学に進学するために5件の申請があった。平成30年度までに全ての奨学金が完済完了となっている。

【山下】本村の奨学基金制度の利用はわずか。

奨学金＝日本学生機構が有名だが、高森町の『高森町次世代定住促進奨学資金貸付制度』この制度と同等の取組を西原村でもできないか。

高森町次世代定住促進 奨学資金貸付事業

貸付金額／大学生等

《月額 5万円》

返済期間／卒業後10年以内

※ただし卒業後、
貸付期間と同等時期以上、
町内に居住し町内外で就労した場合は
全額返済を免除。

西原村ならではの

新しい基金の創設を

【山下】現在ほとんど活用されていない、本村の『奨学基金制度』。

せっかくなら学習意欲がある誰もが使いやすい西原村ならではの新しい基金を創設し、運用してはどうか。

例えば今、保育士や農業後継者の成り手が不足している。全国的にも、公務員や教師、様々な技術職の方が人材不足となっている。村内に住所を有する者が村内企業に就職したり、村の

あり、その原資はふるさと納税とすること。

本村では現在、子育て支援としては、学校給食費負担軽減や小中学校英検等の補助、小中学校の修学旅行費補助、ジュニア育成補助などを実施しているが、今後も様々な施策を講じていきたい。

発展に寄与する職業を開業するなどの際に学生時代に借りていた奨学金に対し、村が返済の支援を行う取組や、新たな会社を開業する際の開業資金等に対し、村が支援する制度など『注目され活気あふれる村づくり』へ新しい基金創設ができないか。

【村長】村内各所で人材が不足している。基金を創設して、保育園や農業の担い手などへ活用したい。

学費等で悩んでいる方にも基金で少しでもお手伝いできればと思う。

未来の西原村を担う子ども達のため、基金創設を前向きに検討する。



一般質問

尾崎 幸穂 議員

General

一般質問の記事は、質問した議員が要約したもので原文を尊重し一部編集しています。

国際バカロレア教育の進捗状況は

【尾崎】現在、国際バカロレア教育の進捗状況は。

IBの学習者像

探究する人
知識のある人
考える人
コミュニケーションができる人
信念をもつ人
心を開く人
思いやりのある人
挑戦する人
バランスのとれた人
振り返りができる人

IB認定校を目指す必要がある、その後、ディプロマ・プログラムを有するIB校の高等学校との接続を考えなければならぬ。そうすると本村の独自の施策だけでは難しい部分が多々生じる。③IB教育に専門的に携わる加配措置の教員の獲得が難しい、加えてIB教育の指導方法を獲得した教職員が一定期間で人事異動がある為、ノウハウの蓄積が難しい。

公共施設の利用予約のオンライン化の考えは

【尾崎】小中学校の体育館を含む公共施設の予約の集約化、オンライン予約の検討は。

【教育課長】現在村内の各学校の体育館予約に関しては各学校にて使用許可願にて使用承認を得た後、総合体育館にて更に利用申請書を書き利用料を支

バカロレア教育の進捗状況は

教育課長／バカロレア教育の申請は一旦休止する。

公共施設の利用予約をオンラインにしているかどうか

教育課長／各方面から話を聞いて進めていく。

役場の体制づくり、業務改善について

村 長／人事評価制度を利用し給与へ反映、職員のスキルアップをはかる。



西原村総合体育館

払っていただいているが、今後は申請書を統一させ、片方はコピーでの対応という形で簡素化をはかる。現在はホームページで学校以外の予約状況を確認ができるようにシステムを構築中。今後、オンライン予約も進めていく。



現在完成した
空き状況確認用：QRコード

役場職員の業務・接遇の改善について

【村長】熊本市を中心とした周辺市町村で構成する協議会で、広域で予約システムをつくり、24時間予約・決済システムを導入しようという話もでているので、連携して早く実現できるように取り組む。

【尾崎】令和5年12月議会にて役場の体制づくり、業務改善を含め前向きに進めていくという答弁であったが、その後の進展は。【村長】来年度より本格的に人事評価を給与等へ反映する。職員の仕事ができることへの気づきを与えられ、結果として職員のスキルアップになると考える。





益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会報告

《組合議員》堀田直孝 加藤博敏

令和7年第1回益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会定例会が
令和7年2月14日益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議室において開催された。
議案第1号から議案第3号までの3件提出され、主な内容は次のとおりである。

《議案第1号》

専決処分の報告並びに承認を求めることについて
熊本県市町村総合事務組合規約の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更を行う。

《議案第2号》

益城-嘉島-西原環境衛生施設組合監査委員の選任同意について
氏名／松浦哲也 住所／西原村大字河原695番地1

《議案第3号》

令和7年度益城-嘉島-西原環境衛生施設組合一般会計予算について
歳入歳出それぞれ6億2,860万円とする。昨年度当初予算より8,788万6千円の増額である。
令和7年4月1日より可燃ごみの処理を熊本市に委託するための設備経費が増えたため。

議案3件 全て全会一致で可決!!



熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会

《組合議員》尾崎幸穂

令和7年2月12日 熊本県市町村自治会館において
令和7年度第1回 熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会が開催された。
本議会では、議第1号から第10号までの議案が上程され、
同意2件と8件の議案が審議された。

《議第6号》

令和7年度 後期高齢者医療広域連合一般会計予算について
歳入歳出の総額3億6,616万6千円

《議第7号》

後期高齢者医療特別会計予算について
歳入歳出の総額3,315億7,023万1千円

《議第9号》

熊本県後期高齢者医療広域連合副広域連合長の選任同意について
竹崎一成氏を選任

《議第10号》

熊本県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任同意について
議会選出監査委員 松尾純久氏を選任

全ての議案において、採決の結果、賛成多数で可決!!

議会視察研修報告

《5番議員》堀田直孝

令和7年3月17日（月）から18日（火）までの1泊2日間において、三重県の三重中央開発株式会社・西日本ペットボトルMRセンター・京都市のさすてな京都の三施設の視察研修をおこなった。

研修目的としては、現在、本村の一般家庭ごみは、益城町・嘉島町・西原村の三町村運営する環境衛生施設組合で運営しているが、老朽化に伴い新たな施設への転換が必要となった。平成27年4月に上益城5町と西原村は「熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会」を設置し、検討されたが、新施設の建設予定地が御船町の山間部に選定され、西原村にとっては非常に収集・搬入が不便で不利になり、平成30年7月にこの協議会より西原村は離脱した。今後は、熊本市に可燃物の処理においては委託する予定ではあるが、不燃物の処理においてはまだまだ検討の余地があり、今回の研修となった。

研修先の内容は次のとおりである。

◎三重中央開発株式会社は、今回御船町に進出予定のグループ会社であり、独自の資源循環システムと設備でトータルリサイクル事業を展開しており、年々強化される廃棄物処理法や、各種リサイクル法に対応可能な施設が充実している。大栄環境グループのリサイクルセンターで最も多くの施設を有し、ジオメルトや焙焼炉、トランスヒートコンテナシステムなど独自の方法で資源循環に取り組む総合リサイクルセンターであった。

◎西日本ペットボトルMRセンターは、使用済みペットボトルを原料とし、ペレットを製造しており、これまで困難とされていた、ボトルtoボトル（B to B）を最先端の技術で実現し、ペットボトルの完全なリサイクルグループを目指している民間企業であった。

◎さすてな京都は、京都市が直営で運営している施設で、ごみ処理施設そのものを活用して整備しており、焼却炉やごみ発電、バイオガス化施設などの大規模施設を見学でき、最先端の環境技術を学べる施設となっていた。

今回、この三施設の視察研修で得たものとして、以前のごみ処理においては、行政としては、家庭から出たごみを可燃物は燃やし、不燃物は瓶、缶に分けて破碎し、鉄においてはプレスし地金を売却するというイメージであったが、今回の視察研修において、今後の行政が取り組む環境衛生においては、高額な予算をつぎ込む直営方式でなく、民間を活用した委託方式が全国で広まっており、また、SDGsに則った①資源環境の推進 ②脱炭素社会の確立 ③生物多様性の保全等サステナブルの社会づくりを目指した政策を行わなければならないと再認識した研修であった。



三重中央開発株式会社の工場



再利用されるペットボトル

視察報告

公共育成牧場跡地利用対策特別委員会

《中西義信 委員長・加藤博敏 副委員長・堀田直孝・松浦哲也・山下圭介》

公共育成牧場跡地利用対策特別委員と堀田総務課長・加藤主事・事務局2人で公共育成牧場跡地を視察した。目的は借主(株)駒城が建設した新畜舎(返還時は解体する旨締結)と、古い畜舎の状態と今後の在り方について。

新しい畜舎は良い作りで、馬も元気に気持ち良く喰っていた。皆程よく太っていて、西原産馬が相当いて嬉しかった。また古い畜舎の解体に対しては、現在県と駒城とで協議中。まだ県の所有物なので今後無償で頂いても、経費が掛かりそうな構造物の処分を早急に決断するという話を聞いて、安心はしたが今後を注視していきたい。



育成牧場の新旧畜舎を視察

河原校区活性化対策特別委員会

《堀田直孝 委員長・松浦哲也 副委員長・中西義信・加藤博敏・山下圭介》

河原校区活性化対策特別委員会で、通称：山原(ヤンバル)と数年前に農振地区を解除されている河原団地横の農地と水源を視察した。山原(ヤンバル)は、今は完全に耕作放棄地で広い面積がある。開発するには村も相当な予算がいるようだ。河原団地横の農地は道路は狭いが、開発が進めばそれなりになりそうな地形であった。後は地域のご理解も必要だと思うが、良い進展を期待したい。6年度に村が開発した新住宅地3戸分は工事が進んでいて完成が楽しみだ。



河原団地横の視察



通称：山原(ヤンバル)



てとてとて ひとりじゃない

みんなで支える未来へ

中西 義信

皆さん「しらゆり会館」って聞いた事ありますか。場所は健軍自衛隊正面入り口前にあります。正式名称は「熊本県ひとり親家庭福祉協議会」、昔でいう所の「駆け込み寺」ではありませんが、ここは本当に困り事相談所です。母子・父子への明日への希望と幸せづくりを目的に、事務局のサポートが大変充実している施設です。県子ども食堂の応援も行っている。現在村にはひとり親家庭の支部が無いそうで、是非取り組んで、輪を広げていただきたいと思います。

熊本県ひとり親家庭福祉協議会 てとてとて

ひとりでがんばり過ぎないで。 支え合う仲間が 待っています!

当会は県内のひとり親家庭の支援を目的に設立された福祉団体です。現在24の市郡の団体が活動し、会員数はおよそ3,000世帯。必要な支援を必要な人につないでいくため、さまざまな支援活動に取り組んでいます。



シンボルマーク
『しあわせの王子』

主な事業内容

1 社会福祉法人 熊本県ひとり親家庭福祉協議会 てとてとて事務局

県内のひとり親家庭や寡婦の方々への支援活動など、母子会の取りまとめ役として、様々な事業に取り組んでいます。

2 熊本県母子家庭等就業・ 自立支援センター

TEL096-331-6736
熊本県内(熊本市在住を除く)のひとり親・寡婦の方を対象に、資格取得講座や相談などを行います。

3 無料職業紹介所

TEL096-331-6736
ひとり親家庭・寡婦の方を対象に就業・自立支援紹介などを行います。

4 各種相談事業

生活・就業・子育て・教育・法律相談などに、専門の相談員が対応します。お気軽にお問合せください。

5 施設の貸出

会議室や多目的室など、福祉目的であれば会員外の方も利用できます。

6 情報提供・調査研究

母子会のイベントやお子さんの奨学金などの支援情報、行政情報など役立つ情報を発信。その他、ひとり親家庭の困りごとや生活の問題解決を図るための調査研究、ひとり親家庭の支援者育成などにも取り組めます。

社会福祉法人 熊本県ひとり親家庭福祉協議会 『てとてとて』

〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘34-23

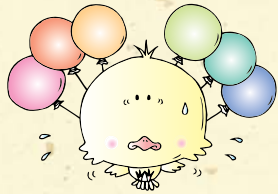
母子・父子休養ホームしらゆり内

TEL096-331-6735

E-mail info@tetotetote.kumamoto.jp



LINE公式アカウント
友達募集中!!

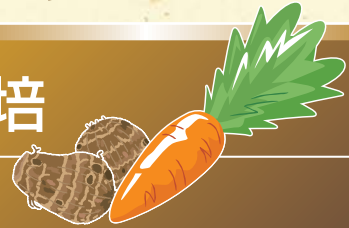


がんばろう!! 職場から SHOKUBA KARA KONNICHWA こんにちは

このコーナーでは、西原村
活性化のため、村内で頑張っ
ている方を今後も紹介して
参ります。

人参・里芋 栽培

尾田 長政さん



【就農時の経営規模】

人参165畝・里芋25畝

【将来の経営目標】

人参375畝・里芋25畝



『就農のきっかけ～就農してみて苦労したこと等 ～今後頑張りたい事』

就農2年目、人参と里芋を栽培しています。
私が就農しようと思ったきっかけですが、
西原村の主幹産業が農業ということもあり、
以前から農業に興味がありモジモジと悩ん
でいました。40歳の節目を目前に控え、一
度きりの人生!チャレンジしないと後悔するぞ!

と妻から背中を押され、というよりも、どっ
かれて一歩前に踏み出しました。農業を生
業にしたい、チャレンジしたいという私の思
いを汲み取って、背中を押してくれた妻に
感謝です。

実際に農業をやってみると、天候の影響
をもろに受ける仕事であると痛感しています。
病害虫等も悩みの種ですが、完全に無力で
はありません。昨今の気候変動も相まって、
天候が農業に与える影響は、年々大きくな
っていきと考えています。

今後は、安定的に高品質の野菜を作るこ
とを第一目標に掲げ、微力ながら西原村の
農業を盛り上げ、そして支えていけるよう
に、諦めず何事にもチャレンジしていきます。



編集後記

春の日差しも心地よい季節にな
りました。ご自身の異動・転勤や、
ご家族の入学など、新生活が始まっ
た方も多いかと存じます。小学校・
中学校と入学式に出席致しまして、
子ども達が真新しい制服に身を包
み緊張した面持ちを見るにつれ、学
校生活を楽しんでもらいたいと願
うばかりです。

さて、今回のゆうすいは新年度の
予算審議の状況を掲載しておりま
す。活発な質疑応答があり、いつも
よりページ数を増やしております。
多くの住民の方々に読んで頂ける
広報誌を目指して頑張ります。

文責／加藤 博敏

広報委員

委員長 坂本 隆文
副委員長 尾崎 幸穂
委員 中西 義信
委員 加藤 博敏
委員 山下 圭介

発行責任者

議長 長 西口 義充